

高等学校における「学びのUD」構築実践例③

熊本県立天草高等学校倉岳校の取組

【本スライドの流れ】

- I 取組の計画
- II 取組の実際
- III 取組の振り返り

※本スライドでは、高等学校における「学びのユニバーサルデザイン」構築事業【令和元年度（2019年度）、令和2年度（2020年度）…熊本県教育庁県立学校教育局特別支援教育課】による取組を紹介します。

I 取組の計画



I 目的及び目標

【目的】

目指す姿・・・「生徒一人一人が輝く」学校

- ・主体的に参加し、「分かった」「できた」という達成感を得られる「授業」
- ・目標と見通しを持ち、集中して学習や諸活動に取り組める「環境」
- ・互いの良さや違いを認め合い、安心して自分を表現できる「人間関係」

【目標】

倉岳校版「学びのスタンダード」に沿った「授業」「環境」「人間関係」づくりが学校全体として実践され、目指す姿が実現している状態

- ・令和2年度第2回公開授業週間における相互評価において、全ての項目で「4 よく当てはまる」又は「3 当てはまる」の評価
- ・「授業」「環境」「人間関係」づくりに係る成果検証アンケート（事業前）（事業後）の比較において、肯定的な数値の上昇
- ・授業評価アンケート（全項目）、学校評価アンケート（関係項目）の令和元年度と令和2年度の比較において、肯定的な数値の上昇

2 内容

取組 1

「学びのUD化」「わかる授業」「生徒理解」等に係る職員研修の実施

取組 2

授業づくり、環境づくり、人間関係づくりに係る倉岳校版「学びのスタンダード」の作成及び実践

取組 3

研究授業及び合評会の実施

※その他の計画（スケジュールや校内組織）は、別紙資料をご覧ください。

Ⅱ 取組の実際



取組 I

「学びのUD化」「わかる授業」「生徒理解」等に係る職員研修の実施

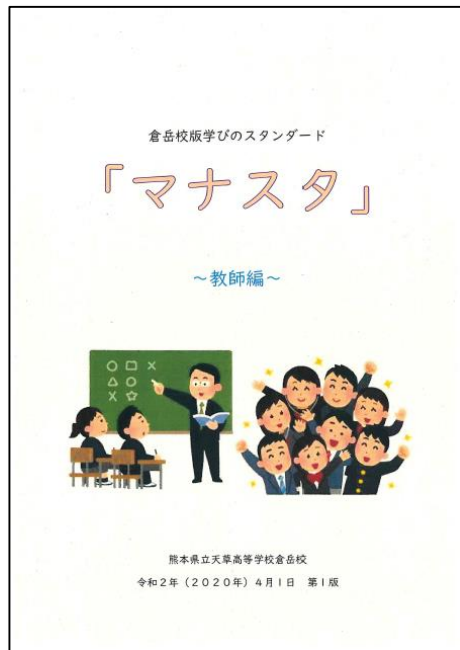
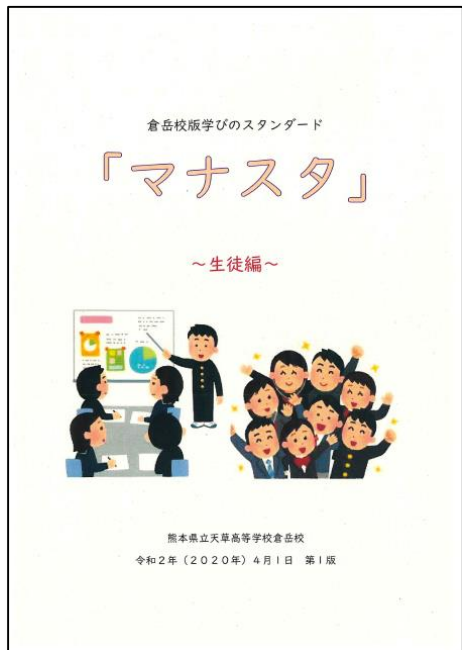
令和2年1月



※研修の中身については別動画をご覧ください。

取組 2

授業づくり、環境づくり、人間関係づくりに係る倉岳校版 「学びのスタンダード」の作成及び実践





生徒用

授業づくり

(準備)

①チャイムと共に学習が始められるように、授業に必要な道具を休み時間のうちに準備している。

- 教科体系は授業の場所と準備しておくものを教科担当の先生に確認し、クラスに連絡している。

(授業の流れ)

②授業の初めに目標を確認し、授業の終わりに目標が達成できるように授業に取り組んでいる。

③授業の流れと時間配分を確認し、見直しをもって取り組んでいる。

④授業の終わりに目標を振り返って、50分(45分)の中で理解できたことやできるようにすることを確認している。

(ノート・プリント等の整理)

⑤板書でのチョークの色分けの意味を理解し、ノートを整理している。

- ・白チョークの文字は黒で書き、黄色チョークの重要事項は赤など強調する色で書いている。

⑥ノートの取り方やファイル・プリントの整理方法を確認し、自分も他の人も見やすいように整理している。

⑦ペア・グループ学習での態度

⑧ペア・グループでは、一緒に理解を深めることができるように協力している。わからないことがあれば尋ね、わかる人は積極的に教えている。(わからないことがあったら)

⑨問題を解いている時、わからないところは教科書やプリントの今まで習ったところを振り返ったり、辞書や資料集で調べたりして、自分で解決

目 次

はじめに	1
授業づくり	2
環境づくり	3
人間関係づくり	3
チェックリスト	4

がてきような工夫をしている。

②授業中、何をやるべきかわからない場合は先生に尋ねている。

環境づくり

③「先生の話を聞く」「ノートに書く」「ペア(グループ)で話し合う」など、場書や指示に応じた行動をとっている。

④学校生活や授業などにおいて守るべきルールや決まり、手順を理解し、守っている。

⑤個人態を整理整頓し、必要な物をすぐ取り出して使える状態にしている。

例：ファイル・教科書などを背表紙が見えるように並べて置く。

⑥1日や1週間、1か月の予定を学校でも家でも確認できるよう、部付け物の整理やスケジュールの管理をしている。

人間関係づくり

⑦本人や先生などに自分から積極的に挨拶をしている。

⑧質問や意見などを求められたり、発言したいことがあったりする場合に、積極的に話すようにしている。

⑨人の意見や発表は最後まで黙って聞いている。

⑩人の意見を突ったり、否定したりしていない。

⑪発表の後は質問の意を込めて拍手をしている。

⑫人の良いところを見つけている。

はじめに

「マナスタ～生徒編～」のねらい

「マナスタ～生徒編～」は、すべての生徒にとって『わかった』『できた』を実感できる授業、「目標や見通しを持ち、集中して取り組める環境」、「互いを認め合い、安心して自分を表現できる人間関係」をつくることにより、香島校のスローガンである「生徒一人一人が主役として輝く」学校づくりを実現するために、生徒の皆さんに取り組んでほしいことを整理したものです。

日々の活動や行動の指針とともに、巻末のチェックリストを活用して達成状況を定期的に確認してください。

なお、先生方は、別途作成している「マナスタ教師編～」に基づき、共通した考えのもと、生徒への指導・支援を行います。

授業・環境・人間関係ともに、先生方の指導・支援を受けながら、生徒の皆さんが主体的・積極的に行動することによって初めて目指す姿が実現するものと考えます。「マナスタ」を実践し、香島校だからできる、より良い学びをつくっていきましょう。

マナスタ～生徒編～チェックリスト

No.	項目
1	チャイムとともに学習を始められるように、授業に必要な道具を休み時間のうちに準備している。
2	授業の初めに目標を確認し、授業の終わりに目標が達成できるように授業に取り組んでいる。
3	授業の流れと時間配分を確認し、見直しをもって取り組んでいる。
4	授業の終わりに目標を振り返って、50分(45分)の中で理解できたことやできるようにすることを確認している。
5	板書でのチョークの色分けの意味を理解し、ノートを整理している。
6	ノートの取り方やファイル・プリントの整理方法を確認し、自分も他の人も見やすいように整理している。
7	ペア・グループでは、一緒に理解を深めることができるように協力している。わからないことがあれば尋ね、わかる人は積極的に教えている。
8	問題を解いている時、わからないところは教科書やプリントの今まで習ったところを振り返ったり、辞書や資料集で調べたりして、自分で解決できるように工夫をしている。
9	授業中、何をやるべきかわからない場合は先生に尋ねている。
10	「先生の話を聞く」「ノートに書く」「ペア(グループ)で話し合う」など、場書や指示に応じた行動をとっている。
11	学校生活や授業などにおいて守るべきルールや決まり、手順を理解し、守っている。
12	個人態を整理整頓し、必要な物をすぐ取り出して使える状態にしている。
13	1日や1週間、1か月の予定を学校でも家でも確認できるよう、部付け物の整理やスケジュールの管理をしている。
14	本人や先生などに自分から積極的に挨拶をしている。
15	質問や意見などを求められたり、発言したいことがあったりする場合に、積極的に話すようにしている。
16	人の意見や発表は最後まで黙って聞いている。
17	人の意見を突ったり、否定したりしていない。
18	発表の後は質問の意を込めて拍手をしている。
19	人の良いところを見つけている。

各項目について、次の凡例にしたがって該当するところに○をつけてください。

凡例：○ 当てはまらない □ やや当てはまらない △ やや当てはまる ● 当てはまる

No.	月			月			月			No.	項目
	1	2	3	4	1	2	3	4	1		
										1	授業の準備
										2	目標の確認
										3	流れと時間配分
										4	振り返り
										5	チョークの色分けノートの整理
										6	ノート・ファイル・プリントの整理
										7	ペア・グループ学習での態度
										8	自分の解決の工夫
										9	わからないことを尋ねる
										10	場書や指示に応じた行動
										11	ルールの確認
										12	個人態の整理整頓
										13	予定の確認
										14	自分から挨拶
										15	積極的な発言
										16	相手の意見や発表
										17	人の発表を尊重
										18	発表の後の拍手
										19	人の良いところを見つけている

取組 3

研究授業及び合評会の実施

令和2年7月



令和2年10月



倉岳学びのUD通信

倉校学びのUD通信

第1号
R2(2020)10.14

先日、「マナスタ」チェックリスト（第2回）の集計結果と分析を配付しました。ある程度できている項目については維持目指しつつ、ポイントが低かったり下降したりしている項目に取り組んでいきたいと思っております。授業を参観して「いいな」とご紹介しています。

【学習形態の工夫】
個人でワークシートに取り組んだ後に4~5人のグループで意見交換

【複数指示の配慮】
作業の手順をわかりやすく図を交えて示し、生徒がいつでも確認できるようにする

【振り返り】
沿ったよ

【積極的な発表】
導入で授業の内容に関連したミニクイズを行う→生徒「はい!」「はい!」(拳手)

【賞賛①】
グループや全体での発言があった際は皆で「拍手を習慣化・定着させる」

【賞②】
生徒丸つ→!!!

☆この他にもたくさん良い取組をされていると思います。校内お知らせください(自薦・他薦を問わず)。

「本時の目標」どんな表現にしていますか?
～振り返りにもつながる「〇〇できる」目標設定-
本時の目標は、その時間の「goal」(何ができるように)目標を「to do」「〇〇する」「〇〇について考える」などにわけて目指す状態になっているかどうかの振り返りもできにくくネットですぐに確認できる指導案ですが、たとえば次のような「目標」した。
(高校国語) 「私」や「K」の行動や心情に対する理解を深めることができる。
(中学校数学) 標本調査の意味を理解し、標本の無作為性や標本結果を解釈することができる。
(中学校理科) 光の反射について調べ、調べたことをもとに解決することができる。

【リマインド】研究/公開授業指導案
提出期限 10月21日(水)です
生徒に提示する際には、
簡潔な表現に工夫し

倉校学びのUD通信

第2号
R2(2020)11.17
文責：土井

今回は「環境づくり」について取り上げたいと思います。
「マナスタ」チェックリスト（第2回）調査結果の分析で、次の項目について工夫や改善を行いながらポイント上昇を目指して取り組むこととしています。

- ①複数の指示をすることは、視覚的にも分かるように指示している。
- ②個人棚の整理整頓の仕方を決めて指導している。
- ③学年や発達段階に応じて、1日や1週間の予定を見やすく掲示するようにしている。
- ④予定の変更は早めに伝え、視覚的にも分かりやすく示している。

【1年教室】



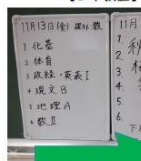
日付や日直も
後方黒板に記入

教科ごとに
ボードを設け
連絡事項を記入

【2年教室】



【3年教室】



当日と翌日の日程を
課外等も含め記入

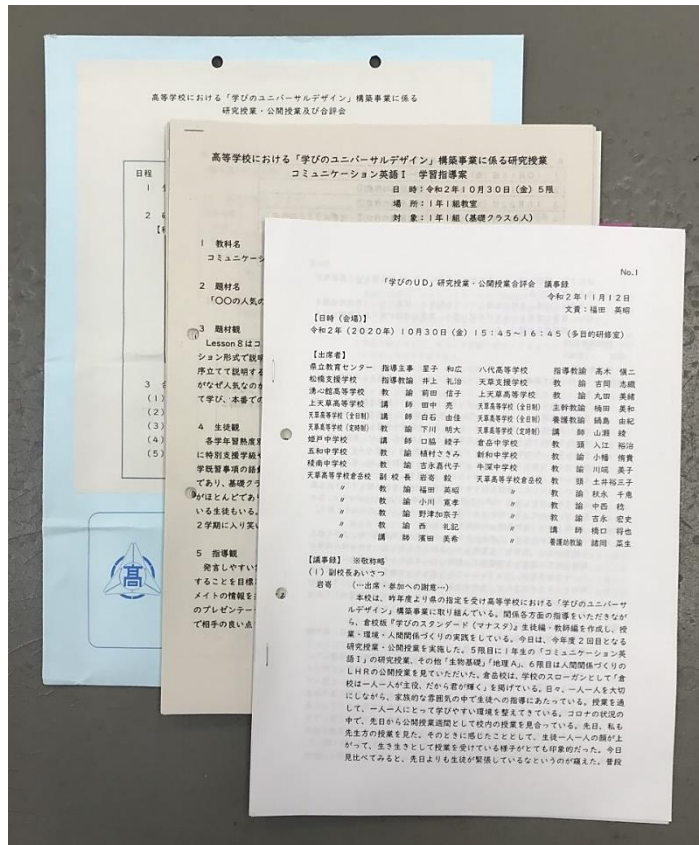
【被服室】



作業の流れごとに手順を板書
→生徒は自分の進捗状況に合わせ
手順を確認しながら取り組む

生徒の実態や教科の特性等を踏まえて、様々な工夫がなされています。
各学年・教科内で話し合ったり、学年・教科を越えて情報共有したりして、より良い学習環境づくりを進めていきましょう。整備したい物品等がありましたら、校内チーム(福田・秋永・諸岡)にお声がけください。
なお、次回のチェックリスト確認は12月を予定しています。

他校への呼びかけ





熊本県立天草高等学校倉岳校

ようこそ天草高校倉岳校のホームページへ！！

メニュー

トップページ

学校案内 >

学習指導 >

学びのUD

目的・目標

マナスタ

実際の取組 >

達成状況

校内授業公開(令和2年
6月)

研究授業・公開授業及
び合評会(令和2年1
0月)

倉校学びのUD通信

進路状況

行事予定

倉校新聞

生徒会・委員会活動 >

部活動 >

学校評価

学びのUD

高等学校における「学びのユニバーサルデザイン」構築事業

熊本県教育委員会からモデル校として指定を受け、県立教育センター指導主事・スーパーティーチャー・巡回相談員からなるサポートチームの支援を得て、学びのUD化に取り組んでいます。(事業期間：令和元年8月～令和3年3月末まで)

1 目的・目標

2 取組について

① マナスタ

② 実際の取組

③ 達成状況

3 授業公開

① 校内授業公開 (R2.6)

② 研究授業・公開授業 及び合評会(R2.10)



★授業づくり

授業が行われるすべての教室に「目標」「流れ」のシートを設置しました。各教科の授業で活用し、生徒たちの学びに繋がる授業づくりをしていきます。

	国語	数学	英語
活 用 例	 	 	 

★環境づくり

すべての生徒が視覚的に理解できるよう、「掃除の手順について」「棚の整理について」という掲示物を作成しました。文字だけではなく、イラストや実物写真を用いてイメージしやすい内容になっています。教室やトイレなどに掲示しているため、生徒たちはいつでも確認できます。

掃除の手順について

掃除の手順について

- 教室・特別教室・職員室など
6限目終了後や掃除が始まる前に、普通教室の机と椅子は掃除がしやすいように前方または後方にまとめる。
- ①ほうきで床のゴミを掃き、束めたゴミをちりとりで取って捨てる。
 - ②水で濡らしふき拭はたき、雑巾で床を隅々まで拭く。
 - ③机と椅子を取っ掛が壊ないように並べる。
 - ④ゴミ箱のゴミを捨てて、空にする。
 - ⑤使った雑巾は洗って乾かし、ほうきや使った道具を片付ける。
 - ⑥時間があまっていれば、窓や窓の枠、棚などの汚れをほこりとる。



●黒板の掃除

- ①黒板消しを使って、黒板を隅々まできれいにし、溝を雑巾で拭く。
- ②黒板消しクリーナーで黒板消しをきれいにする。
- ③黒板消しクリーナーがチョークの粉でいっぱいの場合は中の袋をきれいにする。
- ④授業で使う白、黄、赤のチョークが足りない場合は、職員室に取りに行き補充する。
- ⑤短くなって書きにくいチョークは燃えるゴミとして捨てる。



掃除の手順について

- トイレ
- ①ほうきで床のゴミや紙くずを掃き、束めたゴミをちりとりで取って捨てる。
 - ②便器に洗剤をかけて、ブラシで磨き、流す。
 - ③トイレットペーパーを補充する。(事務室の中松先生に申し出る)
 - ④三角コーナーのゴミを、ゴミ箱に捨てる。(女子トイレ)
 - ⑤手洗い場にクレンザーをかけて、たわしで磨く。
- ※大掃除の時は床に水をまき、デッキブラシで磨き、よく乾かす。



基本的には上記の方法で行い、細かい部分は掃除担当の先生の指示に従ってください。

棚の整理について

棚の整理について(1・2年生教室)



- ①自分の荷物は、自分の棚や机で管理する。
- ②教科書やファイルは写真のように整理し、出し入れがしやすいようにする。
- ③プリントは紙ファイルやクリアファイルに整理してから保管する。
- ④バッグのベルトやひもは垂らさずに棚の中に入ろう。
- ⑤飲み物や食べ物はバッグの中に入ろう。
- ⑥ペットボトル、缶、その他のゴミは棚に置かず、すぐ捨てるかリサイクルする。

棚の整理について(3年生教室)



- ①自分の荷物は、自分の棚や机で管理する。
- ②教科書やファイルは写真のように整理し、出し入れがしやすいようにする。
- ③プリントは紙ファイルやクリアファイルに整理してから保管する。
- ④バッグのベルトやひもは垂らさずに棚の中に入ろう。
- ⑤飲み物や食べ物はバッグの中に入ろう。

※詳しくは下記のPDFをご覧ください。

○掃除の手順について.pdf

○棚の整理について.pdf

★人間関係づくり

全校集会において、年間を通して下表のとおりワークショップを行います。また、各学年のLHRでもプログラムを実施していきます。生徒が互いの良さや違いを認め合い、安心して自分を表現できる人間関係を構築できるようになることを目的としています。

月日	プログラム	内容
7/9	自分を知ろう	いくつかの場面に対する対応の仕方を選択し、自分のアサーションの傾向を知る。
10/1	上手な聴き方	相手の話を上手に聴くポイントについての講話とロールプレイ。
11/2	二者択一	異なる2つの価値観のうち、どちらかを選ぶ。グループ内で理由とともに発表し、それぞれ価値観が違うことを知る。
12/1	アンガーマネジメントゲーム	「できごとカード」の内容がもし起こったら、カードを引いた回答者がどのくらいの怒りを感じるかを他の人が予想する。その「できごと」をどのように対処するかも話し合う。



ワークショップ		参加者数(人)		
実施日	実施場所	男子	女子	合計
1	自分を知ろう	10	10	20
2	上手な聴き方	10	10	20
3	二者択一	10	10	20
4	アンガーマネジメントゲーム	10	10	20
5	アンガーマネジメントゲーム	10	10	20
6	アンガーマネジメントゲーム	10	10	20
7	アンガーマネジメントゲーム	10	10	20
8	アンガーマネジメントゲーム	10	10	20
9	アンガーマネジメントゲーム	10	10	20
10	アンガーマネジメントゲーム	10	10	20
11	アンガーマネジメントゲーム	10	10	20
12	アンガーマネジメントゲーム	10	10	20
13	アンガーマネジメントゲーム	10	10	20
14	アンガーマネジメントゲーム	10	10	20

Ⅲ 取組の振り返り

※学びのUDアンケート結果及び本事業まとめアンケートによる教職員の回答をもとに整理しています。

※回答者数：9人



教職員個人について



意識の変化

- ・事前に教材研究を十分に行ってから授業に臨むようになった。
- ・生徒たちに何を授業で伝えたいのか、学んでほしいのかについてきちんと考える機会となった。
- ・教材研究の際に生徒が分かりやすい授業になっているかをより意識するようになった。
- ・生徒の実態を踏まえた「分かる授業」の展開に向けた工夫・改善ができた。
- ・生徒に対してはもとより、校務全般に関してUDの視点を意識して取り組むようになった。

授業改善の取組

- ・以前まで毎時間ごとの目標や流れの提示ができていなかったが、本事業を通して意識・実践できるようになり、自分自身も目標を意識しながら授業をするようになった。また、学習活動・形態や授業プリントなども見直すきっかけとなった。指示の出し方も意識するようになった。
- ・本時の目標や授業の流れを生徒に示すことで、私自身も授業の冒頭に再確認できるとともに生徒と共通理解を持って授業を行うことができた。
- ・全員が受けやすい、分かりやすい授業にするために必要な環境づくり、関係づくりについて学ぶことができた。この事業を始めてから毎授業で目標と流れを提示するようにしている。また、授業プリントに自己評価の記入欄を付け、生徒が授業の振り返りができるよう取り組んでいる。

人間関係づくりの取組

- ・人間関係づくりのプログラムを知り、実践することができた。
- ・主に人間関係づくりワークショップに携わってきたが、私自身としても初めて取り組むワークショップが多く、本校の生徒にどう工夫すれば伝わるのか試行錯誤しながら取り組んだ。
- ・UDの視点を踏まえた学校生活を送るうえでの細かいルールや取り決めが、授業や学校行事等でも生かされているように感じた。人間関係づくりのLHRを行うことができ、どのようにして認め合える関係づくりができるかを考える良い機会となった。

教職員全体について



共通理解、共通実践の前進

- ・生徒の視点に立とうという意識が高まったと思う。
- ・生徒の興味・関心を喚起する仕掛けづくりや、生徒が主体的に参加するための工夫などを意識して行うようになった。
- ・日頃の指示や言葉がけにおいても、「分かりやすく」「肯定的に」行う風土が醸成されてきている。
- ・学校全体で共通認識をもって取り組むことができ、生徒・職員ともに取り組み、定着させることができてきたように感じる。
- ・授業をはじめ、教室掲示等生徒にとって学びやすい環境づくりを全職員で考えることができ、学びのユニバーサルデザインについて意識が高まった。
- ・生徒用、教師用の学びのスタンダードを取り入れ、統一して取り組んでいると思う。
生徒たちも授業に取り組む姿勢はもちろんだが、個人棚の整理や掃除の仕方も統一してできている。
私たち教員も授業では目標、流れを提示するようになった。学びのスタンダードも「マナスタ」という名称で浸透していると思う。
- ・どの授業も、「目標」や「流れ」が分かりやすくなった。
- ・教室や下足箱などの使い方に統一感が生まれた。
- ・人間関係づくりでは、学年を越えて交流する機会があったため、学年を問わず他者について理解する良い機会となったと感じる。

生徒について



学習意欲や学習内容の理解の向上

- ・意欲的に学校生活に参加できるようになっていると思う。
- ・生徒が積極的に授業に取り組むようになった。
- ・分かる授業が増えて、生徒が活発になった。
- ・落ち着いて授業に取り組んでおり、ペア活動やグループ活動にも積極的に参加する生徒が多くなったように感じる。
- ・マナスタの自己評価も定期的に行っているため、授業への意識も向上しているのではないと思う。
- ・マナスタのチェック項目を作り定期的を確認を行うことで、どのようなことに気を付けるべきか考えることができ、徐々に身につけていったのではないかと感じた。授業も目標を提示したり、指示を1つにしたりと統一して行うことで安心して学習できるのではないかと感じた。
- ・全教科が同様のスタイルで授業を行うことで、生徒は何を学ぶのか、どのような力をつけるのかなど明確で理解しやすかったのではないかと考えられる。
- ・授業では目標と流れを提示しているので、授業中に次に何をすべきか把握できている。
- ・区切りをつけながらの指示を行うことで、困り感を持つ生徒が少なくなったと感じる。
- ・どの生徒も、授業の中で「話し合い活動」や「発表」を行うことができるようになった。
- ・個人棚の整理ができるようになっている。

人間関係づくりの前進

- ・学びのUD構築事業を通して、相手の気持ちを考えるのが苦手な子、思ったことをすぐ口に出してしまう子等の対人関係が苦手な子が、少し成長したように思う。
- ・生徒の「人を思いやる心」は従来からあった方だと認識しているが、本事業に取り組んだことで、さらにあたたかい雰囲気になったように思う。
- ・クラスの仲がより深まり、感染症予防対策を徹底しながらの学年を超えた交流により、学校全体としてのまとまりが出てきたのではないと思う。

今後に向けて

- ・効果があり、今後も取り組みたいことは、「マナスタ」である。基準を設けたことで教科間でのずれなく統一して目標・流れの提示等のUD化ができており、生徒もいろいろな授業を同じ形式で学ぶことができるため、より一層授業内容に集中できるようになったと思う。
- ・授業の目標や流れの確認等は今後も継続していきたいと思う。
- ・人間関係づくりワークショップを「全校集会」とクラスごとの「LHR」の二本立てで行うことで、3学年全体としての取組と、各学年の特徴等に応じた取組の両方ができたのでよかったと思う。
- ・人間関係づくりワークショップを全校集会で実施された点はすごく良かったと思う。生徒は楽しみながら、人間関係を構築できたと思うし、教員の側としても取組など参考になった。
- ・実習でのICT機器の利用をこれからも行っていきたい。
- ・実物投影機やプロジェクターを活用して生徒に視覚的に示すこと。
- ・「環境づくり」や「人間関係づくり」について、3年間を見通した各学年の目標設定や取組を体系づけられればと思う。

生徒と教師の行動指標となる「マナスタ（倉岳校版学びのスタンダード）」を活用したことが、「分かりやすい授業」「過ごしやすい学校生活」につながりました。統一性を大切にした組織的な取組は、生徒に自信と安心感を与え、「積極的」「活発的」な姿へとつながっています。各種の研修会に他校の先生方の参加を呼びかけたことも、お互いの実践力の向上に結びついています。



倉岳は一人一人が主役！だから君が輝く！！



「生きる力」の育成のために、
すべての子供が安心して学べる
教育環境の整備を進めていきましょう。



BGM: MusMus

Kumamoto Prefectural Education Center